

# 使える部品を再び利用

人や荷物を運び、私たちの暮らしや産業をささえてくれている車。そんな大切な役割を果たしている車は、使用済みになったあとも、まだ使える部品が再利用されたり、資源として再生利用されたりして、社会に役立てられています。そこで今回から、自動車リサイクル博士が車のリサイクルに関する現場をたずね、さまざまな取り組みを紹介します。第1回は、北海道にある「石上車輛」の解体工場からのレポートです。



解体する前に安全に作業できるようにするよ

## 安全に解体するために

石上車輛の解体工場には、月に約1000台もの使用済みの車が運ばれてきます。ここからはまず部品などを取りはずす前安全に作業ができるよう、ガソリンやオイルなどの液体類を回収します。この工場では、そうして抜き取ったガソリンを会社の車の燃料や、北海道らしくオイルを専用ストープの燃料などにムダなく再利用しています。また、こぼれたガソリンやオイルによつて土壌が汚染されないよう、作業する敷地は全面コンクリート化しています。

## コンロンを残さず回収



解体工場では、まずガソリンやオイルを回収します

## ステップ1 まずは「事前処理」



フロンガスの回収は、外にもれないよう細心の注意を払って

## エアバッグも処理

車がしゅうげきを受けたとき一瞬でふくらみ、乗っている人を守るエアバッグも、解体中に何かのきっかけでふくらんでは危険です。このため、作業をする前に電気を通してふくらませておきます。



エアバッグの処理は作業をする人も安全に



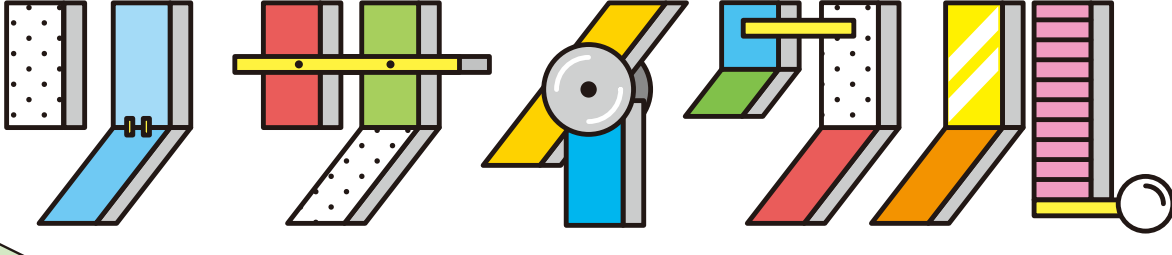
一瞬でふくらんだエアバッグ

エアバッグがふくらむときは、安全のためしっかりと車にカバーをかけ、作業をする人も目を守るメガネや耳せんをします。エアバッグの素材は丈夫なので、バッグなどさまざまな物に再利用されるんです。

こうしたエアバッグを処理するための費用にも、フロンガスと同じように「リサイクル料金」が使われています。

## 未来の地球のために!

# 進め! くるまの



## 第1部 使用済みの車を大追跡!



# 再び利用



**博士のまとめ**  
**まだ使える部品を生かす大切な仕事**  
 今回たずねた「石上車輛」では、「私たちがいないと捨てられる」をモットーに、解体の仕事を通して、使用済みの車の部品や資源をもう一度生かしているよ。また、フロンガスの正しい処理は地球温暖化の防止にもつながっていて、環境を守ることに役立っているんだ。



次回は車の「破砕工場」をたずねるよ!

自動車リサイクルをもっとくわしく学べるよ!



硬くて重い部品もニプラが次々と解体!

## ステップ3 機械で「解体」

重い部品はニプラにおまかせ!



**力持ちのニプラ**  
 まだ使える部品が取りはずされた使用済みの車は、次に力持ちで正確な作業ができる「ニプラ」という巨大な自動車解体機で、価値の高い硬い鉄や銅、アルミなどの素材ごとに解体・分別されていきます。そうして残った車のボディはプレス機で四角い形にプレスされ、「破砕工場」へと運ばれていきます。

## ステップ2 世界で「再利用」

**使える部品は再利用**  
 使用済みの車でも、まだまだ使える部品は、ていねいに取りはずされるリサイクル部品として再利用されます。この解体工場では、エンジンやトランスミッション、ドア、バンパーなどの大きな部品からブレーキまでの小さな部品まで約250種類を、きちんと使えるかきびしくチェックし、倉庫には再利用される部品が全国でもトップクラスの約6万点保管されています。案内してくれた穴戸さんが教えてくださいました。



取りはずした部品の状態をていねいに調べて記録

**おたずねした会社**

社名: 石上車輛  
 住所: 本社(北海道札幌市) 恵庭工場(北海道恵庭市)  
 自動車を中心としたリサイクルに関する仕事を通じ、地球環境を守ることに貢献を自指しています。  
 ホームページ: <https://www.ishigami.co.jp/>

**リサイクルクイズ**  
 解体工場地球温暖化防止のために作業はどれ?  
 A フロンガスの回収  
 B エアバッグの処理  
 C ガソリンの抜き取り

石上車輛 石上 副社長

クイズのこたえ A フロンガスの回収